

庵我福祉だより

# しあわせ庵我

第46号

令和3年1月

発行

庵我地区福祉推進協議会

## 新年のごあいさつ

庵我地区福祉推進協議会副会長

庵我公民館館長 濱 友啓



皆様、明けましておめでとうございます。

私は庵我地区公民館館長を今年で四年目になり、日頃は皆様にお世話になっております。昨年は体調を崩し大変ご心配をお掛けし申し訳なく思っております。

日頃は、公民館活動にご理解とご協力を頂きまことに有難うございます。

さて、本年度の公民館活動はコロナ禍の影響で三密を避けソーシャルディスタンスを取るよう福知山市より依頼が有り役員そして分館長（自治会長）の皆様と打ち合わせをさせて頂き庵我大運動会・敬老会・ふれあい祭りを自粛する事が決められました。敬老会に付きましては、イベントについては自粛させて頂き公民館からの気持ちはお届けし、子供たちの

手紙も添えることを了解頂き各自自治会にて配布していただきました。配布させて頂いた子供たちの手紙が敬老会会員の皆様から大変喜んでいただき、学校にお礼の手紙等々手書きにて届き学校側も大変喜んでおられ、子供たちに、それぞれ思いを伝えられたとお聞きしています。



いま、庵我地区では今後の庵我の組織及び各団体の活動についての様な動きをして行かなければ成らない大きな転換期を迎えております。まず庵我会館移譲問題に付きましては、福知山市が「財源の問題で維持できない」とそのようなことから地元建物（施設）を移譲、地元管理にして福知山市の負担を軽減していくことにより財政負担を減らしていく施策を取り今ある施設を維持していく考えかたです。平成二十六年に公共施設マネジメント基本方針をまとめ上記の内容が各団体に

報告があり、当地域も各自自治会に打ち合わせを行い、さまざまなご意見を頂き庵我地区の皆様と打ち合わせをさせて頂いた後、福知山市には取りあえず移譲を受けるむねの報告をいたしました。

庵我会館移譲を受けるには、どれだけの改修をしていただけるかを打ち合わせしその後決定することに成っております。

但し、移譲後庵我会館をどの様に活用するかを庵我地区にて打ち合わせして方向を決めなくてはなりません。それは平成二十九年に自治基本条例が発効されその中で「まちづくり」を推進していこうという事が最大の目的で庵我地区を「自助・共助・公助」が機能し、時代の変化に対応し持続可能な地域運営を目指し、まちづくりの主体は市民・市議会・行政の責務を明確にする等々の内容が明記され今後庵我地区にて「まちづくり」を推進していこうと考えております。

庵我地区にては、大きな課題が山積みしています。今後皆様のより一層のご理解とご協力をお願いいたし庵我をより良い地域になるように宜しく願います。

あいつつで心をむすぶ  
明るい庵我  
地域ぐるみであいつつの輪を広げましょう

子ども達と共に



庵我ハッピーズ会長

小中 和美

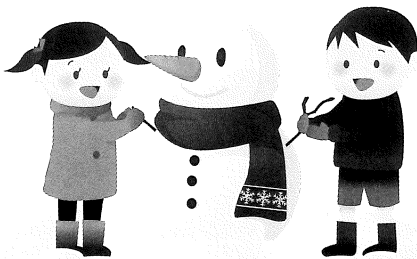
新年明けましておめでと  
うございます。昨年は新型コロナ  
ロナ感染で大半の行事が中止となり、大変な  
一年となりました。今年が良い年を迎えられ  
ます様心から願っております。平日の毎朝、七  
時三十分自宅前の十字路を交通安全の旗を  
持つてハッピーズの方と立っていると「おはよう  
ございます。」と大きな声で元気よく子ども  
達がやってきます。



一人一人「おはよう」と声を掛け左右の安  
全を確かめて  
「はい、渡ってく  
ださい。」と云い  
待って頂いてい  
る運転手さんに  
頭を下げ最後の  
子ども達と一  
緒に学校までの  
約ニキロ歩いて  
行くのが日課に  
なっています。  
今日は少しし  
んどいなと思っ

いても子ども達の元気な明るい笑顔に励ま  
され頑張つてついでついでついでついでついで  
は平成二十六年に長年勤めていた会社を退  
職したことで毎朝、三段池公園を散歩してい  
ましたが、ある日の事、子ども達と一緒に一人  
歩いておられる中の塩見さんの姿を見て聞く  
ところ毎日だと言うことで凄いな方だと思ひ  
同じ歩くのだったら私も同伴しようと思ひし、  
それから毎日一緒させて頂いております。  
ある時は、冬の凍結した通学路を滑って倒れ  
そうになりながら、また時には激しい雨降り  
で濡れながら子ども達と登校したことが今で  
も懐かしく思い出されます。

子ども達の成長が早く一年生の時は先輩達  
について行くのが精一杯で、まるでカルガモの  
親子のように突然速足で走るのでつまづいてよ  
く倒れて顔面、手足のケガがよくあり、ティッ  
シユペーパーとバン  
ドエイドは欠かせま  
せんでした。「ワー」  
と大きな声で泣き  
しやがんでいる子を  
抱き起こし、応急手  
当をして「学校まで  
頑張つて行ける？」  
と聞くと「うん」と  
小さく頷いて小学  
年の子に手を引いて



もらいながら頑  
張つて学校まで  
行けた時は感  
動でした。

そんな子ど  
も達が五年生、  
六年生になって  
先輩となり、ま  
た班長となって  
みんなをまとめ  
て引つ張つてい  
く姿をみて随分成長したものだとつくづく感  
心させられます。  
平成三十年に庵我ハッピーズの会長に任命  
され、私の所属する見守りボランティア他にも  
読書ボランティア、学習ボランティア環境支援  
ボランティアと総勢六十六名の多くの方々に  
支えられ今日まで活動が続いております。ま  
た庵我小学校の校長先生をはじめ先生方の温  
かいご指導によつて子ども達は明るく健やか  
に今後も成長してくれるものと大きく期待し  
ております。

「子どもは本当に私達庵我にとって宝」であ  
り、気力をもらいながら身体の続く限り見守つ  
ていきたいと思っております。



# 安心して暮らせる庵我に

## 庵我福祉推進協議会事務局長

### 庵我地区主任児童委員 足立 淳子



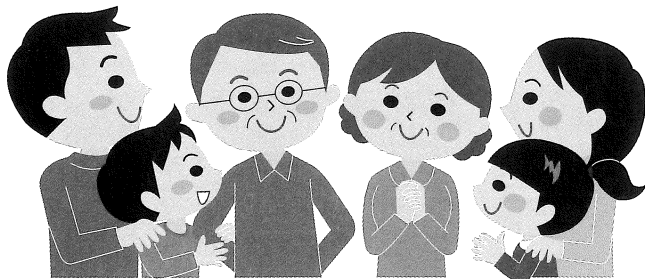
庵我地区福祉推進協議会の事務局長をさせていただいて、四年目となりました。

地域の皆さまには、日頃からご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、福祉推進協議会の事業も中止しておりますが、毎年、いろんな事業・研修の中で、学ぶことがたくさんあります。一緒に活動させていただいている役員の方、地域の方々からいろんなことを学ばせていただき助けていただいています。ありがとうございます。

また一方で、庵我地区主任児童委員の二期目をさせていただいております。主任児童委員とは、「主に児童福祉について任されている委員」という意味です。例えば、福知山市の「こんにちは赤ちゃん訪問事業」に関連して生後二か月の赤ちゃんの家庭を訪問しています。



私は、この任を受ける以前から、CAP（子どもへの暴力防止Ⅱいじめ・不審者・虐待等の防止）の活動や、デートDV防止授業などを推し進めていきましたが、任を受けたことによりさらに、桃映中学校「地域未来塾」、補導委員、社会環境浄化推進委員などといった面でも、子どもたちの福祉に関わらせていただいています。



誰もが安心して暮らせる庵我を皆様と一緒につくっていききたいと思えますので、今後ともよろしくお願いいたします。

**こんにちは赤ちゃん訪問の御案内**

御出席ありがとうございます。  
福知山市では、赤ちゃんのすこやかな成長を願うとともに、赤ちゃんの御家族が安心して子育てできるよう、さまざまな子育て支援に取り組んでいます。

**こんにちは赤ちゃん訪問**は、子育て支援に関わる市職員と、地域の民生児童委員・主任児童委員が御家庭を訪問して、赤ちゃんとお家族にお出合い「お祝い品」と「地域の身近な子育て支援の情報」をお届けするものです。

訪問は、おおむねお子さんが3か月になる月となります。あらかじめ電話で日程調整をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

御不明点がございましたら、下記まで御連絡ください。

記

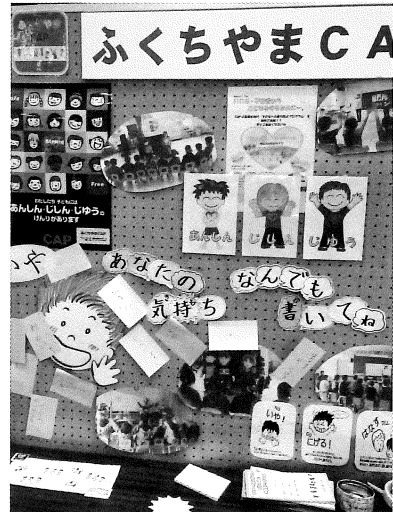
- 1 訪問対象者 福知山市に住民票のあるすべてのお子さんを訪問します。
- 2 訪問時期 生後3か月頃～

※御実家に滞りされるなど御家庭の事情や、お子さんの体調などに応じて日程調整させていただきます。

- 3 日程調整 生後2か月になる月に電話で調整します。
- 4 その他 別紙のお祝品リストより御希望の一品を選び、日程調整の際にお知らせください。

**連絡・お問い合わせ先**

福知山市福祉保健部子ども政策室 家庭支援係  
〒620-0035 福知山市宇内紀100番地  
(ハビネスふくちやま1階)  
TEL 0773-24-7055  
FAX 0773-23-7011



CAPワークショップ風景

# 福知山市動物園

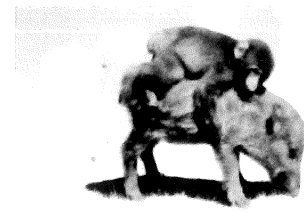
園長 二本松 俊邦



昭和二十六年春、御霊公園に台湾猿が三匹来ました。福知山信用金庫が設立した。福知山信託公園にあった図書館がすることになりました。作業が午前中かかるので困って猿を納品した当店に助けてほしいと依頼があり世話をすることになりました。

五年経って水禽舎が出来、白鳥が来ました。又、五年経って小鳥舎。それを昭和五三年に三段池に移設。最初は無料。飼育員は猪崎の方三人と父。昭和六十年に動物を増やして有料化。現在の動物園になりました。

平成七年、父に替わり私が来ました。猿ヶ島の手すりの色塗り、おり舎の修理、餌作りと掃除の見習い。入園者が増えてきました。読売テレビの



ズームインサタデーが何度も来て生中継。次は特捜スワットで動物園のリニューアル。東海林のり子。ガダルカナル・タカ。三村マサカズ。矢部美穂。武内由紀子。で二

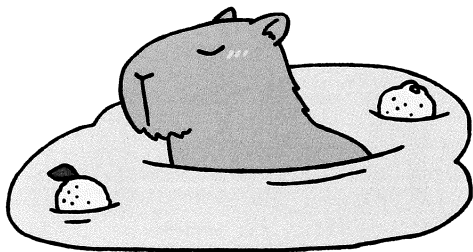


ロボの背中にヤギ。

日間撮影。タレントがチンドン屋の格好で街に宣伝に出ました。そのころからテナガザルの子供が触れると言ったスターが出てきました。さくら。さつき。福。山。アライグマのラン。

特に平成二十二年のイノシシのウリ坊と三ホンザルのみわは全国的な大ブームになり、毎日全国からお客さんが来て町中大変な騒ぎになりました。一年間六万人だった入園者が半年間で十三万人増えて十九万人になりました。平成二十六年にレッサーパンダが来たり手長猿の桃太郎が天才志村どうぶつ園で瀧本美織さんと一年間出演したりスターが続出しました。その時、動物園が二倍の大きくなりました。昨年六月には二ホンザルのみわが檻を破って十日間逃げて又騒がれました。

今年になって癒しで有名な動物、カピバラが来たり、テレビで明智光秀の『麒麟が来る』で福知山が人気になっていた矢先に新型コロナウィルスで動物園とお城は休園



になつたり大変でした。私ももう少しだけ皆さんに助けていただいで頑張ってみようと思つています。



## 編集後記

しあわせ庵我令和三年一月号の発行に際して、たくさんの方のご協力をいただき誠にありがとうございました。ご意見ご寄稿がありましたら、是非お寄せ下さい。

元気で明るい地域作りに一層のご協力をおねがいいたします。

### 編集委員

- 浦岡 正敏
- 塩見 明実
- 塩見 均
- 片山 ユカリ
- 塩見 喜美子